



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月5日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男 (TEL) 03-5644-0600  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	39,228	7.8	3,147	13.2	3,383	9.9	2,271	7.9
2018年3月期第3四半期	36,396	6.6	2,779	△5.4	3,078	3.5	2,104	4.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 970百万円(△76.0%) 2018年3月期第3四半期 4,039百万円(142.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	87.85	—
2018年3月期第3四半期	81.29	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	51,829	30,919	54.1
2018年3月期	51,901	30,348	53.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 28,020百万円 2018年3月期 27,647百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年3月期	—	6.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.1	3,800	5.4	4,000	2.1	2,600	6.7	100.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	26,801,452株	2018年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,088,325株	2018年3月期	907,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	25,857,463株	2018年3月期3Q	25,895,666株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州、中国と総じて景気回復基調を維持しておりますが、米国の通商政策による国際的な貿易摩擦問題への懸念や中国経済の動向及び東アジアの地政学リスクの高まり等を背景に、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方、わが国経済は、相次いだ自然災害や天候不順もありましたが、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用・所得環境の改善による個人消費の伸張もあり、全体として緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済情勢の下、当社グループは主力の自動車業界や電器・電子部品業界のグローバルな市場動向に注視しながら、事業セグメントごとに顧客により密着した事業活動を展開してまいりました。その一環として、より一層マーケティング力の強化を図り、市場性のある製品開発を推進することにより、経営の両輪である国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当社グループの第3四半期の連結業績は、売上高は、39,228百万円と前年同四半期と比べ2,832百万円(7.8%)の増収となりました。営業利益は、3,147百万円と前年同四半期と比べ367百万円(13.2%)の増益、経常利益は、3,383百万円と前年同四半期と比べ304百万円(9.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,271百万円と前年同四半期と比べ166百万円(7.9%)の増益となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

## ・機械部門

主力の国内外向け自動車用内装製造設備及び粉体塗装設備の製造販売が好調に推移し、増収増益になりました。

当部門の売上高は、3,179百万円と前年同四半期と比べ427百万円(15.5%)の増収となり、営業利益は、400百万円と前年同四半期と比べ204百万円(104.0%)の増益となりました。

## ・化成品部門

国内外の自動車業界向けの製造販売は、主要自動車メーカー向けの販売は堅調に推移しましたが、営業利益は原材料の仕入価格高騰等により、増収減益となりました。

当部門の売上高は、12,755百万円と前年同四半期と比べ67百万円(0.5%)の増収となり、営業利益は、1,028百万円と前年同四半期と比べ192百万円(15.8%)の減益となりました。

## ・化学品部門

国内市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売並びに輸出関連の販売が引続き順調に推移し、また原材料コストや生産効率の改善等もありましたが、増収減益となりました。

当部門の売上高は、5,150百万円と前年同四半期と比べ357百万円(7.5%)の増収となり、営業利益は、421百万円と前年同四半期と比べ20百万円(4.6%)の減益となりました。

## ・産業用素材部門

家電用防音材の製造販売は、特に東南アジアにおいて猛暑等の影響による顧客の増産及び業務用エアコンの販売が好調により、増収増益となりました。

当部門の売上高は、12,830百万円と前年同四半期と比べ1,533百万円(13.6%)の増収となり、営業利益は、前期からの復調した子会社もあり、785百万円と前年同四半期と比べ260百万円(49.6%)の増益となりました。

## ・化工品部門

国内カーケアケミカル販売は、ガソリン価格高騰と異常気象の影響はありましたが堅調に推移し、ファインケミカル等の製造販売も、新規製品採用により、増収増益となりました。

当部門の売上高は、3,315百万円と前年同四半期と比べ248百万円(8.1%)の増収となり、営業利益は、377百万円と前年同四半期と比べ114百万円(43.4%)の増益となりました。

・その他部門

中国やロシアからの輸入販売は、原材料の仕入価格高騰等がありましたが堅調に推移し、増収増益となりました。

当部門の売上高は、1,997百万円と前年同四半期と比べ198百万円(11.0%)の増収となり、営業利益は、133百万円と前年同四半期と比べ1百万円(1.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は、前連結会計年度末と比べ72百万円減少し、51,829百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(1,013百万円)、新規連結等による有形固定資産の増加(467百万円)がありましたが、保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少(1,632百万円)があったことによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ643百万円減少し、20,909百万円となりました。主な要因は、新規連結等による支払手形及び買掛金の増加(403百万円)がありましたが、保有株式の時価評価による繰延税金負債の減少(428百万円)、未払法人税等の減少(140百万円)、支給に伴う賞与引当金の減少(298百万円)があったことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ571百万円増加し、30,919百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少(1,183百万円)がありましたが、利益剰余金の増加(1,986百万円)があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(2018年5月11日付決算短信)に修正はありません。また、今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,753	10,766
受取手形及び売掛金	13,725	13,888
商品及び製品	3,431	3,423
仕掛品	445	436
原材料及び貯蔵品	1,121	1,143
その他	905	1,398
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	29,380	31,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,474	8,527
減価償却累計額	△5,377	△5,573
建物及び構築物(純額)	3,097	2,954
機械装置及び運搬具	7,290	7,333
減価償却累計額	△5,431	△5,494
機械装置及び運搬具(純額)	1,858	1,838
土地	6,323	6,326
リース資産	540	550
減価償却累計額	△242	△197
リース資産(純額)	298	353
建設仮勘定	284	865
その他	3,609	3,644
減価償却累計額	△3,006	△3,051
その他(純額)	602	593
有形固定資産合計	12,464	12,931
無形固定資産		
借地権	49	130
その他	436	447
無形固定資産合計	486	577
投資その他の資産		
投資有価証券	7,094	5,462
長期貸付金	233	264
繰延税金資産	256	267
その他	2,148	1,380
貸倒引当金	△162	△111
投資その他の資産合計	9,570	7,263
固定資産合計	22,521	20,773
資産合計	51,901	51,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,743	9,146
短期借入金	3,117	3,254
1年内返済予定の長期借入金	584	1,094
リース債務	124	170
未払法人税等	630	489
賞与引当金	690	392
その他	1,767	1,805
流動負債合計	15,658	16,353
固定負債		
長期借入金	2,762	1,924
リース債務	198	211
繰延税金負債	1,039	610
役員退職慰労引当金	300	149
退職給付に係る負債	1,519	1,580
資産除去債務	16	16
その他	56	62
固定負債合計	5,894	4,555
負債合計	21,553	20,909
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,277	2,277
利益剰余金	18,740	20,727
自己株式	△210	△307
株主資本合計	23,008	24,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,098	2,914
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	541	208
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	4,639	3,121
非支配株主持分	2,700	2,899
純資産合計	30,348	30,919
負債純資産合計	51,901	51,829

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	36,396	39,228
売上原価	27,041	29,200
売上総利益	9,354	10,028
販売費及び一般管理費	6,575	6,881
営業利益	2,779	3,147
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	68	94
持分法による投資利益	108	56
為替差益	67	-
貸倒引当金戻入額	-	51
その他	82	77
営業外収益合計	355	308
営業外費用		
支払利息	43	33
為替差損	-	25
その他	12	13
営業外費用合計	56	72
経常利益	3,078	3,383
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産売却損	3	1
固定資産除却損	2	38
特別損失合計	5	39
税金等調整前四半期純利益	3,073	3,348
法人税、住民税及び事業税	740	838
法人税等調整額	19	△26
法人税等合計	760	812
四半期純利益	2,313	2,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	208	264
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,104	2,271



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,313	2,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,178	△937
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	214	△314
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	328	△313
その他の包括利益合計	1,725	△1,565
四半期包括利益	4,039	970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,749	754
非支配株主に係る四半期包括利益	290	216

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,751	12,687	4,793	11,297	3,066	34,596	1,799	36,396	—	36,396
セグメント間の 内部売上高又は振替高	45	124	85	220	2	478	540	1,019	△1,019	—
計	2,797	12,811	4,879	11,517	3,069	35,075	2,339	37,415	△1,019	36,396
セグメント利益又は 損失(△)	196	1,221	441	524	263	2,647	131	2,779	—	2,779

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,179	12,755	5,150	12,830	3,315	37,231	1,997	39,228	—	39,228
セグメント間の 内部売上高又は振替高	160	136	87	10	0	395	674	1,069	△1,069	—
計	3,339	12,891	5,238	12,841	3,315	37,626	2,672	40,298	△1,069	39,228
セグメント利益又は 損失(△)	400	1,028	421	785	377	3,013	133	3,147	—	3,147

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。